

一人一人が参画する 「本校ならではの」の教育活動実現に向けた学校経営



各学校では、学校経営方針に基づき、各教育活動の目的を教職員間で共有し、実施後の振り返りや改善に向けた話し合いを定期的に行うなど検証改善サイクルを工夫しながら、「本校ならではの」の教育活動を推進しています。また、学年や担当教科等の枠を超えて互いに学び合える研修体制の工夫や人材育成に向けた意図的な校務分掌の編成等、教職員一人一人の指導力向上を図る取組が行われています。

「本校ならではの」の教育活動とは「**活力に満ちた楽しい学校**」「**家庭や地域社会から信頼される学校**」を目指し、児童生徒・家庭・地域社会の実態や意向を十分に踏まえ、校長の学校経営理念と方針の下、学習指導要領の趣旨やねらい、内容等を具体的な形にした教育活動である。

推進に当たっては、校長のリーダーシップの下、実現状況を把握し、常に改善・充実に努め、教職員の「**豊かな人間性**」及び「**幅広い視野**」と「**確かな指導力**」を基に、全教職員共通理解の上、一貫した教育活動を展開することが大切である。また、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を地域社会と共有し、連携・協働しながら、**生涯にわたり学び続ける基盤が培われるよう、新しい時代に求められる資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現**を図ることが重要である。その際、学校経営を全体構想図等で分かりやすく示すなどして家庭や地域社会にも**学校経営理念を浸透**させるとともに、ふるさと学習や職場体験活動等、家庭や地域社会と協働して行う様々な活動を充実させることが有効である。

「本校ならではの」の教育課程編成と管理

- ◎ 学校教育目標の実現に向けて、各学校の特色を生かし、教科等横断的な視点で資質・能力の育成を図るなど、**全教職員でカリキュラム・マネジメントを推進**し、教育活動の質を向上させること。そのために、教職員一人一人が**学校経営参画意識**を高め、教職員間で十分に協議し、共通理解した上で行動連携等を図ること。
- ◎ **学校運営協議会等の活性化**を図り、学校経営方針や特色ある教育活動等を校内外に発信し、共有するなど、教職員一人一人が家庭や地域社会との連携・協働の重要性を認識した上で、**地域とともにある学校づくりを効果的に進める**こと。さらに、多様な教育資源を学校の教育活動に生かしていくなど、**家庭や地域社会とともに児童生徒を育む**こと。
- 「本校ならではの」の教育活動の推進のためにも、職員研修等を通じて組織的、継続的に教職員の倫理観や規範意識等を高めるなど、**服務規律の保持**を徹底し、**不祥事の根絶**に努めること。また、児童生徒の**安全・安心を最大限確保**するために、**危機管理マニュアルが常に実践的なものとなるよう定期的な見直しと改善**を図り、家庭・地域社会・関係機関と連携するなど、**安全管理や危機管理に関する校内体制整備の強化**に努めること。例えば、教職員の役割分担の明確化や機能的で実践的な組織体制の構築により、適切な対応ができるよう工夫することが考えられる。

(参考資料)①②

学びの連続性と一貫性のある教育

- ◎ **義務教育9年間を見通して目指す子ども像を共有し、学びの連続性と一貫性のある教育を行うこと**。推進に当たっては、家庭や地域社会、異校種間等の連携や交流を通して、児童生徒の現状や課題を踏まえて体系的に重点化を図った指導の充実に努めること。

運営組織の活性化と意図的、計画的な学年・学級経営

- ◎ 「本校ならではの」の教育活動を推進するためには、組織的、計画的な教育活動の展開が求められることから、**教職員一人一人の特性や能力等が最大限に発揮され、主体的に活動できるように運営組織を見直し、活性化を図る**ように努めること。例えば、教育課題の解決策をチームで検討・提案できる仕組みを整え、経験豊かな教職員との協働の中で**ミドルリーダーや若手教職員の育成**を図るといった工夫が考えられる。
- 学年・学級は、**学校教育目標を実現する基盤**として重要な場である。学年主任や学級担任、学年に関わる職員は、目指す子ども像の実現に向けて、発達の段階に応じた体系的な教育を行うという意識を高めながら、**意図的、計画的な経営**が行われるようにすること。また、児童生徒はもとより、家庭や地域社会との信頼関係構築のために、**教育的愛情と使命感**をもって児童生徒に接すること。

校内体制の確立と研修の充実

- ◎ 学校全体として**計画的、継続的に研修**が進められるよう校内研修体制を確立すること。また、教職員一人一人が指導力向上を目指して、**主体的に学び続ける**ことができるよう、**研修履歴等を活用するとともに校内研修の充実に努める**こと。その際、**自校の課題や目指す方向性を全教職員で共通理解**し、研修ごとに振り返りや見直しを行いながらその成果を共有したり、教育活動や組織運営の改善を図ったりすること。



学校経営に関する参考資料への二次元コード